

2025年度 SDGsセンター員が決定しました

2025年度の各研究科のSDGsセンター員が決定しました。センター員は、本学が行うSDGsに関する事業の推進及び調整に努めるとともに、各研究科等における連絡調整をしています。

【センター長】

林 秀敏 (特任教授)

【副センター長】

高桑 修 (医学研究科)
曾我 幸代 (人間文化研究科)
金子 典代 (看護学研究科)
熊澤 慶伯 (理学研究科)

【センター員(各研究科)】

奥田 勝裕 (医学研究科)
宮嶋 ちはる (薬学研究科)
濱口 泰代 (経済学研究科)
馬渡 玲欧 (人間文化研究科)
大野 暁彦 (芸術工学研究科)
久保田 正和 (看護学研究科)
鈴木 善幸 (理学研究科)
白間 綾 (データサイエンス研究科)

なごやみらいフェスティバル2025に初出展しました！

4月26日(土)に吹上ホールにて開催された「[なごやみらいフェスティバル2025](#)」(主催：一般社団法人SDGsヒーローズ)に出展しました。このイベントは、「私たちがつくる私たちの未来～SDGs×VTuber～」をテーマとしており、出展ブースではSDGsセンターの活動紹介をはじめ、人文社会学部の曾我ゼミの学生による「持続可能な社会のために自分ができることを考える」ワークショップを実施しました。また、林SDGsセンター長と曾我幸代准教授(人間文化研究科)がメインステージへ登壇し、本学のSDGsの取り組み紹介やESD(持続可能な開発のための教育)について講演しました。

本イベントを通じて、多くの来場者にワークショップにご参加いただくなど、本学のSDGs活動を知っていただくことができました。



ワークショップの様子



ステージの様子

NCU サステナビリティ・プレゼンアワードの参加者を募集します！

2025年11月2日(日)に、「NCUサステナビリティ・プレゼンアワード -若者が考える持続可能な社会-」を開催します。

本イベントは高校生・大学生の自由な発想で「働」をテーマに持続可能な社会を実現するための「課題の提起」と「その解決策」を発表するプレゼンテーション大会です。皆様のご参加をお待ちしております！

【イベント概要】

- ・日 時：2025年11月2日(日) 午後1時から午後4時(予定)
- ・会 場：名古屋市立大学桜山キャンパス 本部棟4階ホール
- ・対象者：高校生または大学生のグループ
- ・主な内容：

- ①各グループの発表
- ②高校生・大学生の混合ワークショップ



高校生・大学生対象 / NCUサステナビリティ・プレゼンアワード2025 -若者が考える持続可能な社会-

名古屋市立大学SDGsセンターでは、若者(高校生・大学生)の自由な発想で持続可能な社会の実現を目指すための「問題提起」と「解決・改善案」を提案するプレゼンテーション大会を開催します。

【プレゼンテーマ】
「働」 仕事やボランティア、自然の楽しみなど、多様な「働」が私たちの暮らしを形づけています。それは経済や社会、文化と深く結びつくものです。「働」はSDGを中心に、多くの社会問題と関わるキーワード。どの視点で捉えるかによって、その意味は変わり、文化の差異も感じます。どの視点で捉えるかによって、その意味は変わり、文化の異なるために得ることができるかを考えます。

【開催概要】
開催日時：2025年11月2日(日) 13時～16時(予定)
場 所：名古屋市立大学桜山キャンパス 本部棟4階ホール
対 象：高校生または大学生のグループ ※応募多数の場合、書類選考をします。
応募方法：裏面の募集要項をご覧ください。エントリーシートをご提出ください。
内 容：プレゼン発表/ワークショップ/表彰式
主 催：名古屋市立大学SDGsセンター
後 援：名古屋市、名古屋市教育委員会、中部ESD拠点協議会

【問い合わせ先】
名古屋市立大学SDGsセンター (経営企画部企画課)
TEL: 052-853-8808
mail: ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

応募についてはこちらから





Vol.20より新たな企画としてスタートした研究活動とSDGsのつながりを紹介する第2弾として令和7年4月に新設されたデータサイエンス研究科の辰己賢一先生の研究をご紹介します！

データサイエンス × 気候変動 -地球の未来を読み解く-



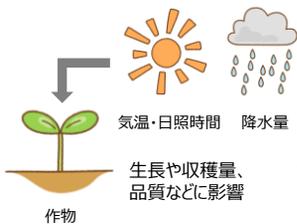
辰己先生

大学院時代の「気候変動と作物生産性」という農学のテーマを工学的なアプローチで課題解決に取り組むという視点から始めた研究がきっかけで今に至っています。現在は、気候変動が農業や私たちの生活に与える影響に関する数理モデルを開発する研究などに取り組んでいます。

データサイエンス×「農業の生産性向上」

気候変動が作物の生産性に与える影響を予測する数理モデルの開発

気温、降水量、日照時間、湿度などの気象要素が将来どのように変化し、それが作物の生長や収穫量にどう影響するかを定量的に予測



気象要素や管理条件・土壌条件と作物生長プロセスの関係を数理モデル化し、将来の農業生産性を予測・評価

品種改良や効率的な栽培計画に活用するなど、変化する気候の中でも安定した農業を続けることができる！
持続可能な農業の実現

＼ こんなところがSDGs！ /



食料の安定的な供給の確保
(食料安全保障)



農業分野での
データサイエンスの活用



研究成果を気候変動への
適応策の立案に活用

データサイエンス×「住みやすい環境づくり」

鶴舞公園の暑熱環境緩和効果に関する定量的研究
～快適な都市・まちづくりに向けて～

公園の緑が周辺の気温や風の流れ、人々の快適性にどれほど影響しているのかを、数理モデルを開発して定量的に評価



樹木の蒸散作用や日射の遮蔽により、緑があると周辺の気温が下がると言われています。その効果についても調査しています！

緑をどのように設置すれば夏が過ごしやすくなるかという観点で公園緑化の役割を数理モデル化

ヒートアイランド現象への適応策名古屋を住みやすい都市に！

＼ こんなところがSDGs！ /



緑の配置がもたらす気温緩和や風通しの改善
→住みやすいまちづくり



研究成果を都市部の気候適応策(暑熱対策)に活用



SDGsセンター長
林 秀敏 先生

SDGsのゴール13に「気候変動に具体的な対策を」が掲げられており、今やすべての分野と密接に繋がっている課題です。辰己先生の研究は、気候変動が農業や生活環境に与える影響を科学的に解明し、将来の適応策を立案する上で不可欠な科学基盤となるものです。SDGsと深く関わる取り組みであり、私たち一人ひとりの暮らしと密接に関わる「持続可能な未来の地球のための研究」だと言えます。

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

